地域と学校がパートナーとなって子供の成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課　地域学校連携担当
〒020-8570　岩手県盛岡市内丸 10-1
ＴＥＬ　019-629-6173
ＦＡＸ　019-629-6179
E-mail　DB0005@pref.iwate.jp

令和７年９月 25 日発行　第 40 号

令和７年度「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム 開催報告

令和７年６月から９月にかけて、県内６つの教育事務所管内で「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを開催しました。学校職員、行政職員、地域住民など延べ 667 名が参加し、講演・演習・ワークショップを通じて、地域と学校が連携して子どもたちを育てるための考え方や実践方法について理解を深めました。

フォーラムの開催概要

各地域での開催状況は以下のとおりです。

・盛岡教育事務所管内（姫神ホール）：184 名参加
・中部教育事務所管内（岩手県立生涯学習推進センター）：106 名参加
・県南教育事務所管内（前沢ふれあいセンター）：100 名参加
・沿岸南部教育事務所管内（三陸公民館）：65 名参加
・宮古教育事務所管内（宮古市民文化会館）：103 名参加
・県北教育事務所管内（かるまい文化交流センター）：109 名参加

講師には秋田大学の皆川雅仁氏、紫波町教育委員会の佐々木勉氏、全国コミュニティ・スクール連絡協議会顧問の貝ノ瀬滋氏を迎え、各地域の実情に応じた内容でフォーラムが展開されました。

主な成果と学び

フォーラムでは、児童生徒が地域と関わる具体的な事例が紹介され、参加者は「熟議」を通して多様な立場の人と意見を交わしました。学校運営協議会の本質や地域協働の意義について再確認する機会となり、ワークショップでは地域ごとの課題を共有し、今後の方向性について議論が深まりました。アンケート結果からも、CS 推進への理解と実践意欲の高まりが確認され、学校・行政・地域がそれぞれの立場で協働する意識が強まったことがうかがえます。

参加者の声

参加者からは、「地域と学校が横並びで協働することの大切さを実感した」「子どもを主語にした熟議の重要性がよくわかった」「教育課程と関連づけて学校を核とした地域づくりを目指すことが重要だと感じた」などの声が寄せられました。

また、「地域コーディネーターの存在が CS を支えていると改めて感じた」「管理職の立場から CS の枠組みをイメージしやすく伝えてもらい参考になった」といった感想もあり、今後の実践に向けたヒントを得る場となりました。

今後に向けて

今回のフォーラムを通じて、学校・地域・行政それぞれの立場から、子どもたちの育ちを支えるための多くの気づきが生まれました。今後も教育課程とのつながりを意識しながら、地域コーディネーターや関係機関と連携し、地域の力を活かした学校づくりを皆さんと共に進めていければと思います。

子どもたちの未来のために、無理のない範囲でできることから少しずつ取り組みながら、立場を越えて支え合い、地域全体で育てる教育の輪を広げてまいりましょう。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）
岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
https://manabinet.pref.iwate.jp/index.php/cooperation/

「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。